

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 17 日作成

事務事業名	街づくり区画整理協会参画事業 □ 実施計画事業	所属部局	建設部	単位番号	7050				
		所属課室	都市計画課	課長名	中込 久男				
基本政策	III うるおいと利便性のある都市づくり □ 実施計画事業	所属担当	計画担当	担当者名	三村 武				
		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
			01	一般	08	04	01	020	14
政策	15 市街地・住環境の整備 □ 実施計画事業	事業区分	□ 国の制度による義務的事業		□ 施設等維持管理事業				
			□ 県の制度による義務的事業		□ 補助金交付事業				
施策	24 計画的な土地利用の推進 □ 実施計画事業		□ 市の制度による義務的事業		☑ その他の事業				
			□ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	なし						
事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 現在、区画整理事業を実施していないこと、また予定もないことから、平成25年度をもって退会することとした。	事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
		負担金(その他)	28						
							計 28		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	協会主催の会議、研修会への参加 負担金の納入
25年度活動実績	平成25年度をもって事業終了(退会)
26年度活動予定	
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	都市計画課職員
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	安心安全なまちづくりや区画整理事業の事例や情報を得て、計画的な土地利用の推進を行う。
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	計画的な土地利用の推進を図る。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:協会の会議、研修会の開催数	回	
イ:		
ウ:		
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:協会の会議、研修会への参加回数	回	
イ:参加人数	人	
ウ:		
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:有益な情報交換が図れたと感じた参加者の割合	%	
イ:		
ウ:		
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:南アルプス市が住みやすい地域と回答した割合	%	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	28	28	28	0	0	0
		事業費計 (A)	千円	28	28	28	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	0	0	0
		延べ業務時間	時間	10	10	10	0	0	0
		人件費計 (B)	千円	46	46	46	0	0	0
		(A)+(B)	千円	74	74	74	0	0	0
活動指標		ア:回	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
対象指標		ア:回	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
成果指標		ア: %	70.0	70.0	70.0	0.0	0.0	0.0	
上位成果指標		ア: %	69.8	69.7	70.8				
イ:									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	安全安心のまちづくりや区画整理事業に関する研究会・講習会・専門誌の発刊など、自治体を支援するための協会で、合併前に旧檜原町・旧甲西町が区画整理事業を行ったことにより、継続されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	ここ数年、特に活動もなく研修会や講習会へも参加しておらず、今現在、区画整理事業等を取り入れる予定もないため、本協会への参画について検証を行う必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に無し

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	区画整理事業を実施していない事から、活動がなされていない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	本事業内容の検証を行い、現在及び近い将来に区画整理事業を取り入れる予定がないため、平成25年度を持って本協会を退会することとした。

事務事業名	街づくり区画整理協会参画事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 現在、区画整理事業を実施していないこと、また実施予定もないことから、平成25年度をもって本協会を退会することとした。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 計画的なまちづくりの推進は、官民一体となって進めて行くことが大切であるが、市がしっかりと計画のもと市が主体となって行う事業であるため妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 現在、区画整理事業を実施していないこと、また実施予定もないことから、平成25年度をもって本協会を退会することとした。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度をもって退会したため、向上の余地はない。
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 都市計画関係の各事業ごとの参画事業となっているが、全国組織である協会自体がひとつの大きな「まちづくり」をテーマとしている。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度をもって退会したため、削減の余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成25年度をもって退会したため、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市全体の計画的なまちづくりの推進のための事業であるため、公平であるといえる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 □適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成25年度に本協会への参画について検証を行い、現在の本市の状況から必要性が薄いと判断した。
②有効性 □適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 □適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 □見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)																								
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																								
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																								
(2)改革改善案について 25年度事業終了	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>			下			
	コスト水準																							
	削減	維持	増加																					
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
低下	<input type="checkbox"/>																							
下																								
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 25年度事業終了	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							